

2016-2018中期経営基本方針

2016年2月12日

株式会社 キムラタン

Contents

1. 2015年度の見通しと分析

2. 2016-2018年度中期経営課題と基本方針

大きな変化への対応

単位: 百万円

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度見通し
売上高	4,878	4,774	4,659	4,300
リテール事業 構成比	66.6%	69.7%	75.7%	90.4%
ホールセール事業 構成比	32.2%	27.1%	23.3%	8.8%
海外事業 構成比	1.2%	3.2%	1.0%	0.8%
営業利益	92	29	27	-190
経常利益	61	15	16	-230
親会社株主に帰属する 当期純利益	36	5	4	-250
ドル/円平均為替レート(円)	79.8	97.7	105.8	121.1

急激な円安の進行という大きな変化に対応し、2013年度から2015年度にかけて採算の見通しにくい業態を縮小。BOBSONショップを加えたリテール各業態で売上増を図る構造転換を選択した。

2015年度 大きく計画未達の理由

単位: 百万円

	2014年度	2015年度計画値	2015年度見通し	計画との差
売上高	4,659	4,800	4,300	-500
リテール事業	3,525	4,370	3,885	-485
ホールセール事業	1,088	400	380	-20
海外事業	45	30	35	5
営業利益	27	25	-190	-215

2015年度は1ドル120円を前提とし、リテール事業に一層集中。

当該事業において大きな変化と付加を加えながら、事業拡大を目指した。

リテール事業で8億45百万円の大幅売上増を計画したが、

対応策の不足と遅れに市場環境の不振も重なり、－4億85百万円と大きく計画未達となる。その結果、大幅な赤字に陥った。

2015年度の個別の要因分析

Baby Plaza

結果	1店舗平均年商5.5%減
主要因	主要因 「愛情設計」ブランドの売価引上げによる客数減

BOBSON

結果	店舗売上は前期より伸長するものの未だ採算点に達せず
主要因	商品企画と顧客ニーズとのアンマッチ

ネット通販

結果	売上高は前期比20%増と伸長するものの計画未達
主要因	新規サイト開設とネット限定商品投入等の施策の成果は前半には間に合わなかったが、後半において前期比30%増と奏功

Contents

1. 2015年度の見通しと分析

2. 2016-2018年度中期経営課題と基本方針

価格と価値のバランスにおける優位性の回復

コスト対応努力を重ねる中で、商品の価格と価値にアンバランスが生じ、かつての優位性を失いかけているものと認識

全てのブランドにおいて現状を見直し、
価格と価値のバランスにおける優位性の回復・維持に努め、
業績の早期回復と将来の持続的な成長につなげる

Baby Plaza	課題: 店舗数増より単店舗年商の引き上げによる収益増 ▪ 「愛情設計」の価値訴求と大型プロモーション ▪ アイテム拡充によるギフト需要の取り込み強化
BOBSON	課題: 採算点への早期到達～競合に匹敵する店舗へ ▪ デザイン重視から機能・素材重視へと商品思想の転換 ▪ 雑貨を中心とした不足アイテムの付加
ネット 通販	課題: 店舗売上に匹敵する規模を目指しさらなる伸長を ▪ サイト数増による新規ユーザーの取り込み ▪ ネット限定商品の間口拡大
ホール セール	課題: 売上倍増へ ▪ 価格引下げによる競争力の強化 ▪ WEB受注システムの進化による得意先増

「愛情設計」を国内外に拡げ将来収益の柱に

国内市場における価値訴求とプロモーション

日本アトピー協会の認証、小児科医の推薦等、高い価値の訴求
メディア・ミックスによる大型プロモーション

海外市場への進出

ブランド・イメージ訴求

一級都市での出店
効果的な広告宣伝

拡販体制の構築

日本製オムツ販路を活用
した展開と拡販

2015年度の業績は誠に遺憾ながら大幅赤字となる見通しとなり、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

かかる事態を真摯に反省し、早期の回復と将来の成長につなげてまいりたいと考えております。

昨今の経済情勢は、先行き不透明感を一段と強めていますが、このような状況であるからこそ、中期的なビジョンに立った、「しっかりとした道筋」を明らかにし、ぶれずに邁進していくことが一層大事であると考えております。

将来の明確なビジョンとともに、本資料の基本方針に基づいた詳細な計画と数値目標を織り込んだ2018年度を最終年度とする「中期経営計画」を策定し、2016年5月13日に公表する予定です。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



KIMURATAN